



今月は「ラオス」のためにお祈りください

ラオスは主にベトナムとタイと国境を接しており、陸地に囲まれている細長い国である。多くの山々に囲まれており、国土の約55%が森林によって構成されている。国民は143もの異なる民族に分類できる。政府は生活している高度によって国民の階級を分類している。

ラオスの経済・政治・宗教について

人口の80%にも上る人々は農業に従事している。ベトナム戦争とその後の混乱はラオスを隣接している国に比較して貧しい国に変えてしまった。政府は投資家や個人事業主たちに積極的にビジネスチャンスを提供しており、経済成長には期待がもてる。ところが、不十分なインフラや政府の腐敗、ビジネスのための資本金があまりにも不足している。森林伐採や人身売買に加え麻薬の取引が横行している。

1954年にフランスの植民地支配から独立後、ラオスは1975年までにはベトナムとラオスの政府とで完全な統制を確立している。経済的には開かれているものの、政府は大きな力をもっており、人々の自由や表現の自由は制限されている。

1975年から1978年にかけて、共産的な政府はクリスチャンを弾圧していた。その後、迫害はおさまったものの、いまだにクリスチャンや教会は監視されており標的になりやすい。仏教は昔からの強い影響力を保持しているが、近年ではアニミズム的思想と混在している。

ラオスのその他の情報

面積:236,800 km² (日本の約63%) 人口:6,436,093(日本の約6% 2010年時点)



宗教:	
仏教	57.29%
土着宗教	34.70%
無宗教	4.20%
キリスト教	3.38%
中国宗教	0.30%
イスラム教	0.10%
バハイ教	0.03%

首都ビエンチャンの市場

北部山岳に住む民族

ラオス仏教のお坊さんたち

ヨハネ 1章5節 「光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。」
祈禱課題

教会の祝福のために

多くの迫害や制限の中にあって教会は急速に成長している。ほとんどすべての教会や伝道活動はラオス人たちによって行われている。都会でも僻地でも、国中で教会の成長を見ることができる。

未伝の地域や部族のために

教会が急速に成長しているものの、まだ多くのところが未伝となっている。143もある部族のうちまだ多くは未伝部族である。この中には国民の大多数をなしているラーオ族、15のことになったことばを話すタイ族、山岳に住んでいるモン族などがある。多くの人々は仏教と土着宗教を信仰している。5000ものお寺に比べて250の教会というのが現状だ。ラオス中にイエスの光が輝き多くの人が救われるようにお祈りください。

苦しんでいる教会のために

迫害が教会に苦しみを与えているが、それによって教会がまた成長していることも事実である。クリスチャンと名のすることで受ける社会からの重圧、そして新しい教会堂を建てるのが難しいことが2つの困難である。特に迫害的な重圧を体験している教会やクリスチャンに忍耐と主イエスの恵みがあるように。「地下」レベルでなされている福音宣教に対して人々が心を開くように。新しくクリスチャンとなった人々の十分な聖書的、弟子的訓練が施されるように。多くの異なる民族に対して効果的に宣教できるための知恵があたえられるようにお祈りください。